

名古屋市立中央看護専門学校の沿革

昭和 49 年 4 月	看護婦不足対策として、名古屋市域看護婦等確保対策協議会を設置する。厚生省は「看護婦養成所の運営に関する指導要綱」を改正し、3 年課程（定時制）の看護婦養成制度が制定された。
昭和 50 年 2 月	3 年課程（定時制）の修業年限 4 年、定員 70 名の学校として厚生省より認可され、第 1 回入学試験を実施する。
昭和 50 年 4 月	名古屋市東区葵一丁目 3 番 27 号の地に名古屋市立中央高等看護学院として開校。1 回生 80 名が入学する。
昭和 51 年 4 月	専修学校（専門課程）の認可を受ける。
昭和 51 年 9 月	校名を名古屋市立中央看護専門学校に変更する。
昭和 53 年 4 月	名古屋市東区葵一丁目 4 番 7 号の地に本校舎の建設工事に着手する。
昭和 55 年 2 月	3 年課程（定時制）修業年限 4 年の定員を 160 名に増員及び助産学科定員 30 名の新設を厚生省より認可される。
昭和 55 年 3 月	本校舎建築工事が完了し、移転する。
昭和 55 年 4 月	助産学科 1 回生 30 名、看護学科 6 回生 160 名入学する。
平成 2 年 4 月	名古屋市立看護専門学校（昭和 42 年開校 名古屋市千種区茂佐裏 26-3 東市民病院（現東部医療センター）敷地内）が廃校になり、同校の 2 年課程を本校に引き継ぎ、第二看護学科（2 年課程）定員 30 名を増設し、従来の看護学科を第一看護学科（3 年課程・定時制）と改称する。
平成 6 年 4 月	3 年課程（定時制）修業年限 4 年の定員を 160 名から 80 名に減員する。
平成 7 年 4 月	助産学科の定員を 30 名から 20 名に減員。3 年課程（全日制）定員 80 名の看護第一学科を新設し、3 年課程（定時制）を看護第二学科に改称、2 年課程（全日制）の定員を 30 名から 40 名に増員し、看護第三学科と改称する。
平成 17 年 4 月	助産学科の定員を 15 名に減員する。
平成 18 年 3 月	看護第三学科を閉科する。
平成 18 年 4 月	看護第一学科及び看護第二学科の定員を 60 名に減員する。看護職員の知識及び技術の向上を図るため、看護職員研修を開始する。
平成 25 年 3 月	助産学科を閉科する。
平成 25 年 4 月	看護第一学科及び看護第二学科の定員を 40 名に減員する。
平成 25 年 5 月	「なごやナースキャリアサポートセンター」を開設し、潜在看護師等に対する研修事業を拡充する。
令和 3 年 7 月	名古屋市立中央看護専門学校条例の廃止が議決される。 令和 4 年度以降の学生募集を停止する。
令和 5 年 4 月	公立大学法人名古屋市立大学へ統合する。
令和 6 年 3 月	看護第一学科を閉科する。
令和 7 年 3 月	看護第二学科を閉科する。 なごやナースキャリアサポートセンターを閉鎖する。 名古屋市立中央看護専門学校を閉校する。